

総額 430億 5,500万円

施政方針

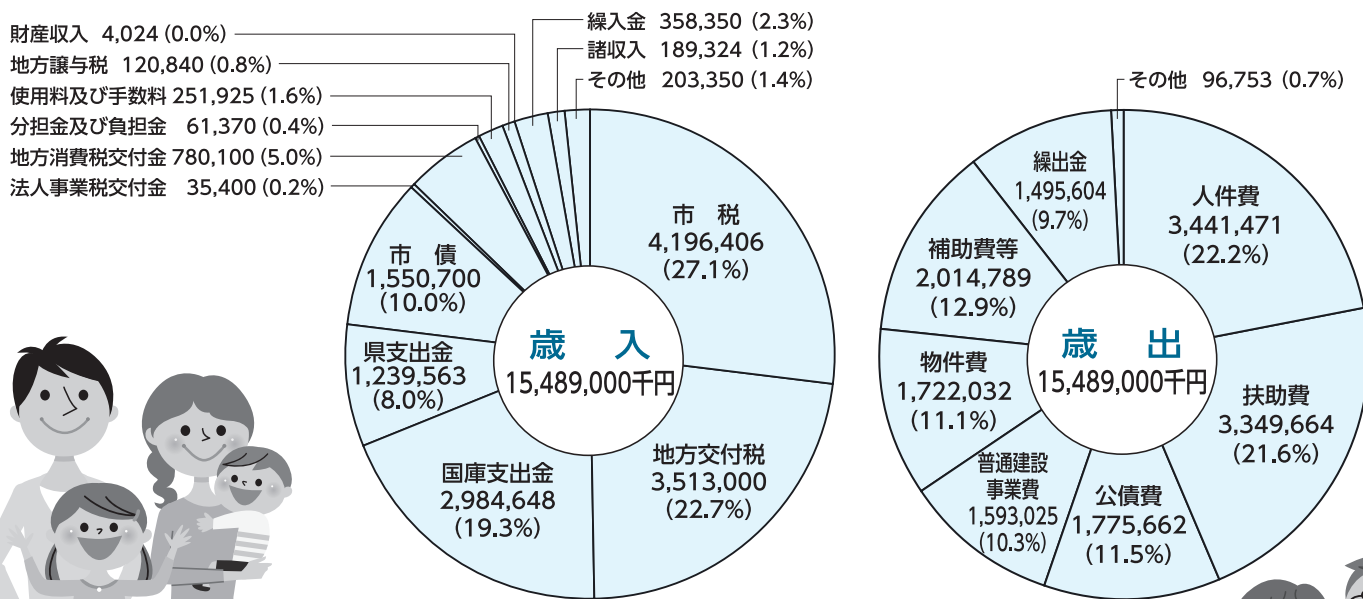
市制施行70周年の節目の年を迎えるにあたり、これまでの歩みを踏まえつつ、今後の小松島市の「持続可能なまちづくり」に向けて、「子育てがしやすい環境作り」と「暮らしやすさ」を実感でき、次の世代に夢や希望を持てる魅力あふれる小松島市を目指し、各施策を推進していきます。

一般会計当初予算

一般会計当初予算の総額は、154億8,900万円となっており、前年度当初予算160億300万円に比べて、3.2%減(5億1,400万円減)となっています。

一般会計歳入・歳出の状況

(単位：千円)



一般会計当初予算における市の総合計画に掲げる重点政策ごとの主な事業は、次のとおりです。

【安全・安心で快適に暮らせるまちづくり】

木造住宅耐震リフォーム事業 300万円

木造住宅の耐震改修につき、これまでの国の補助金を活用した事業に加え、今年度から取り組む市独自のリフォームに係る補助制度をあわせて実施していくことで、市内の木造家屋の耐震化を促進していきます。

準用河川維持管理事業 1,200万円

近年の異常気象に伴い、河川氾濫等の大規模な浸水被害等が相次ぐ中、河川の流下を阻害する堆積土砂の撤去や草木の伐採等を行うことにより、本来河川が持つ排水機能を維持させ、大雨時の浸水被害の防止、軽減に努めます。

【ひとりひとりが輝けるまちづくり】

母子健康包括支援センター事業 1,045万6千円

妊娠期・出産期・子育て期において切れ目のない支援を行うため、母子健康包括支援センター「おひさま」を新たに開設し、助産師・保健師などの専門職による、きめ細かい相談体制を構築します。

小松島ハーフマラソン(仮称)大会開催事業 800万円

市民の健康増進、体力・技術の向上等を図ることを目的としたスポーツ行事の開催に加え、市制施行70周年を迎えることを記念して、来年の1月(予定)に、マラソン大会を開催し、交流促進によるにぎわいの創出につなげていきます。